

多摩ボランティアセンターについて

2022年度 多摩ボランティアセンターの活動の概要 (荻部 俊二 多摩ボランティアセンター長)	103
2022年度 多摩ボランティアセンター来室者数集計	105
2022年度 多摩ボランティアセンター学生団体紹介	106
2022年度 多摩ボランティアセンターイベントカレンダー	107
2022年度 多摩ボランティアセンター活動の報告	109

多摩ボランティアセンターの活動の概要

多摩ボランティアセンター2022年度活動の総括

多摩ボランティアセンター長 荻部 俊二

2020年からの新型コロナウイルス感染症の流行によって、2020年度、2021年度はボランティアセンターの活動は、休止や変更、延期など、多くの制限、制約を受けてきました。2022年度は、新型コロナウイルス感染症の影響は残りつつも、ようやく少しずつ本来の活動を再開できるようになってきました。前多摩ボランティアセンター長の大崎雄二先生から引き継いだ課題「新しいボランティア活動の検討」「近隣地域、行政との連携」については、十分な成果を収めるには至りませんでした。多くの「地域との絆」を紡ぐ取り組みが実施できました。2022年度の学生スタッフ登録者は、24名で、それほど多くはありませんでした。しかし、4月4日、5日の2日間開催された新歓祭では、多摩ボランティアセンターの学生スタッフブースに63名が来訪、5月当初は新入生の学生スタッフ登録が14名となり、学生のボランティア活動への関心、意識の高さを感じさせるものとなりました。学生スタッフのミーティングは11回を数え、活発な意見が交わされ、学生の自由な発想と行動力によって多くの活動が展開されました。

主な活動

- ・防災館見学会（5月15日）
- ・献血ボランティア（6月1日、7月11日、11月1日）
- ・子どもセンターばお夏祭り（7月31日）
- ・相原地区協議会大学連携事業 地域交流会「竹カフェ」（9月24日）
- ・さがまち club「つながりマルシェ」（10月15日）
- ・子どもセンターばおハロウィンイベント（10月23日）
- ・相原中央公園スポーツイベント（11月3日）
- ・市民協働フェスティバル「まちカフェ！」（11月26日）
- ・相原地区協議会大学連携事業 地域交流会「竹カフェ」クリスマス会（12月17日）
- ・芹ヶ谷公園「緑の物語をつくるワークショップ」（2月25日）
- ・多摩地域交流センタープロジェクト「地域交流 DAY」（2月25日）
- ・学生活動報告会「ガクマチ EXPO」（3月21日）

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響から、オンラインでの活動もありましたが、今年は多くのイベントが対面で実施できました。私は多摩ボランティアセンター長の立場で、9月24日と12月17日に開催された相原地区協議会大学連携事業 地域交流会「竹カフェ」に参加させていただきました。9月24日は、「ポッチャ大会」、12月17日は「クリスマス会」を学生が企画、運営し、地域の皆様に楽しんでいただきました。これらのイベント

は大学と地域を繋ぎ、地域の抱えている問題を知る良い機会となります。学生のみならず、私も地域の皆様と良い交流ができました。そして、参加した学生のボランティア活動への自発的かつ真摯な取り組み、さらに豊かな創造性を強く感じさせてもらいました。新型コロナウイルス感染症による活動制限を経て、影響は残存しつつもそれを乗り越えることによって創設以来の基本方針である「学生スタッフによる自律的な企画運営」を実現できたのではないかと思います。その企画、運営の実現は、ボランティアセンター事務局の多大なるお力添えによるものであり、この場をお借りして御礼申し上げます。

多摩ボランティアセンターは、多摩地域交流センターと統合され、2023年度からはソーシャル・イノベーションセンターとして改組されます。学生スタッフはそのままソーシャル・イノベーションセンターに引き継がれることとなります。ボランティアとイノベーションは重複する機能も多少はございますが、性質の異なる概念です。統合後もボランティア活動の意味や定義を堅持し、学生のボランティア活動に対する灯を消すことのないよう活動の場を確保していただきたくお願い申し上げます、最後の多摩ボランティアセンター長としての総括とさせていただきます。

2022年度 多摩ボランティアセンター来室者数集計

	来室者総数(人)	学生(人)	その他(人)	相談数(件)※	開室日数(日)
4月	45	45	0	45	20
5月	27	24	3	24	17
6月	38	35	3	32	22
7月	23	20	3	19	21
8月	7	6	1	6	18
9月	28	26	2	22	22
10月	48	45	3	41	21
11月	68	64	4	62	21
12月	50	45	5	45	17
1月	6	6	0	6	16
2月	6	6	0	6	19
3月	1	0	1	1	22
合計	347	322	25	309	236

※相談数は来室し教職員に何らかの助言を受けた人をカウント

※来室者総数には、学生スタッフの人数は含まれていません。

多摩ボランティアセンター 学生団体紹介 ～学生スタッフのことば～

(多摩ボランティアセンター統括)

多摩ボランティアセンターでは学生スタッフがそれぞれに興味のある分野のボランティアに参加したり、企画したりしています。地域交流・防災・清掃など多岐にわたるボランティア活動を行っています。

多摩ボランティアセンターでは、本年度も多摩キャンパス周辺での地域交流に力を入れて取り組みました。代表的なものを挙げると、多摩キャンパスに地域の方々を招待して交流を行った「地域交流会竹カフェ」、同じ町田・相模原地域で活動する他大学の学生団体と交流を深めた「学生活動報告会ガクマチ EXPO」・「つながりマルシェ」、町田市の市民協働フェスティバル「まちカフェ!」、多摩キャンパスから程近い場所にある子どもセンターばおでの夏祭りのお手伝いなどです。それぞれの活動を通して、地域の方々から喜びの声を直接伝えられ、学生スタッフも十分なやりがいを感じました。

中でも特に印象に残っている活動は「地域交流会竹カフェ」です。「竹カフェ」は、参加者と一緒にパラリンピック正式種目のポッチャを行った会と、学生が用意した出し物を楽しむクリスマス会の計2回開催しました。ポッチャでは地域の方々と試合を通して交流を行い、その日のうちに皆さんと仲良くなることができました。ポッチャを実際に体験することは初めてだったのですが、イメージしていたよりもボールをコントロールすることが難しく、ポッチャの奥深さを知ることが出来ました。

来年度は地域交流センターと統合しますが、地域に貢献する活動を軸に、親しみやすいボランティアを続けたいと思います。

2022年度 学生スタッフ代表 矢野 聖悟



学生スタッフ集合写真

2022 年度・多摩ボランティアセンター活動報告

実施日	プログラム	団体名、講師、協力先
5月15日(日)	防災館見学会	池袋防災館
6月1日(水)	日本赤十字社献血ボランティア	東京都赤十字血液センター
7月11日(月)	日本赤十字社献血ボランティア	東京都赤十字血液センター
7月31日(日)	子どもセンターばお 夏祭り	子どもセンターばお
9月24日(土)	—相原地区協議会大学連携事業—地域交流会「竹カフェ」	Slow World Café
10月15日(土)	つながりマルシェ	さがまちコンソーシアム、さがまち club
10月15日(土)・16日(日)	第75回自主法政祭多摩地区(多摩祭)	町田市防災安全部市民生活安全課
10月23日(日)	子どもセンターばお ハロウィンイベント	子どもセンターばお
11月1日(火)	日本赤十字社献血ボランティア	東京都赤十字血液センター
11月3日(木・祝)	相原中央公園スポーツイベント～FUN DAY～	相原中央公園、相原スポーツクラブ委員会
11月26日(土)	第16回町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ!」	町田市地域活動サポートオフィス、町田市市民部市民協働推進課
12月17日(土)	—相原地区協議会大学連携事業—地域交流会「竹カフェ クリスマス会」	はもるぶ、Slow World Café
2月25日(土)	芹ヶ谷公園イベント「緑の物語をつくるワークショップ」	さがまちコンソーシアム
3月21日(火・祝)	学生活動報告会「ガクマチ EXPO」	町田市生涯学習センター、町田、相模原で活躍する学生団体

概要	場所	参加者数 (実数)	学生数	(内)留学生数	備考
防災について実践的に学ぶため、防災館の見学と体験プログラムに参加	池袋防災館	8	8	0	
受付や献血車への誘導・案内	多摩キャンパス センタープラザ前	11	11	0	
受付や献血車への誘導・案内	多摩キャンパス センタープラザ前	1	1	0	
子どもセンターばお夏祭りイベントの運営補助	子どもセンターばお	12	12	0	
地域の方をお招きした、ポッチャ体験による交流会	多摩キャンパス EGG DOME 多目的ホール	43	17	0	
相模原・町田地域の学生団体による地域活性化イベントにて、防災ワークショップを開催	芹ヶ谷公園 多目的広場	2	2	0	
町田市市民生活安全課と協働した、反射材を利用した暗闇緑日企画	多摩キャンパス 経済学部棟 220 教室	11	11	0	
子ども企画「ちぎり絵体験」の運営	子どもセンターばお	5	5	0	
受付や献血車への誘導・案内	多摩キャンパス センタープラザ前	0	0	0	
子ども向けの走り方教室の運営	相原中央公園 多目的広場 2 (スポーツ 広場)	3	3	0	
折り紙を用いた「ちぎり絵」のワークショップ	町田市役所 おうえんルーム	4	4	0	
地域の方をお招きした交流会。アカペラサークル「はもるぷ♪」によるライブやクリスマスカード作成、クイズ大会を実施	多摩キャンパス EGG DOME Slow World Café	18	10	0	
相模原・町田地域の学生団体による地域活性化イベントにて、防災ワークショップを開催	芹ヶ谷公園 多目的広場	4	4	0	
学生団体による活動報告会と交流会イベント	町田市生涯学習センター	5	5	0	

1. 防災館見学会

1. 日 程 2022年5月15日(日)

2. 場 所 池袋防災館

3. 概 要

学生スタッフが池袋防災館を訪問し、防災館の見学と防災体験ツアーに参加した。平時から備えておくべき事柄、被災時に取るべき行動について実践的に学んだ。

4. 学生参加者数 8名

5. 参加学生の感想

堅苦しい雰囲気はなく、インストラクターの方も面白い方で非常に和やかでした。印象に残った体験は地震体験で、東日本大震災を再現した震度7を体感したのですが、非常に激しい揺れで、頭の中が一瞬で真っ白になりました。

現代福祉学部 福祉コミュニティ学科3年 矢野 聖悟

体験前と後で心持が変わった点は、火災の中での行動が想定よりも圧倒的に制限されるということであった。視界不良、呼吸制限等、実際に直面した場合にパニックになる要素は多々あった。体験なしには気づかない点であった。一方で、体験前から後で、一貫して確立されたことは、地震対策と食糧備蓄、特に水は重要であるということだった。

経済学部 現代ビジネス学科1年 廣瀬 耀介

今回、防災館で地震・煙・消火・救急の4つを体験しました。この中で特に私が印象に残ったものは地震体験でした。地震体験では特別な装置を使い、震度7の揺れを実際に体感することができたのですが、机の脚にしっかり掴まっても机ごと投げ飛ばされてしまう程のものであり、今まで経験したことのないような揺れで、声も出ない位、非常に怖かったです。現在、南海トラフや首都直下型地震など、間違いなく大地震が起きると予想されているので、改めて防災というものの見直しや実行を個人レベルで行わなくてはいけないなと思いました。

現代福祉学部 福祉コミュニティ学科1年 三石 帆波



防災について実践を交えて学んだ

2. 日本赤十字社献血ボランティア

1. 日程 ① 2022年6月1日(水)

② 2022年7月11日(月)

③ 2022年11月1日(火)

2. 場所 多摩キャンパス センタープラザ前

3. 概要

多摩キャンパスにて献血協力を呼び掛けた。参加学生は当日来場者の受付や案内など、補助ボランティアを行った。

4. 学生参加者数 ① 11名 ② 1名 ③ 0名

5. 参加学生の感想

(6/1)

今まで献血のボランティアはしたことがなく不安もありましたが、献血の雰囲気の間近で感じることができ、良い経験になりました。機会があればまた参加して、呼び込みなどでもできるように頑張りたいです。

現代福祉学部 福祉コミュニティ学科2年 田中 遥

今回のボランティアを通して献血の大切さを感じました。又指導してくれる方々も優しくしてくださり、伸び伸びと活動することができました。

経済学部 経済学科1年 森田 陸生

私は呼びかけの仕事を行いました。看板を持ってキャンパス内を歩くだけでも、献血に興味を持ってくれる方が多くいて嬉しかったです。

経済学部 経済学科1年 滝田 実加

今回、献血ボランティアスタッフとして活動したことで、献血に対するハードルが下がったような気がしました。次回は当事者として献血をしてみたいなと思いました。

現代福祉学部 福祉コミュニティ学科1年 三石 帆波

(7/11)

授業の合間でも協力して下さる方は途絶えることがなかったので、献血の認知度とその協力して下さった多くの方の想いに感動しました。活動は猛暑日でしたが、一緒に運営する方が何度も水分補給の声掛けをしてくださいました。そのため、献血に協力して下さった学生の方、運営する側、ともに優しくあたたかい空間になっていたと思います。

社会学部 メディア社会学科4年 大島 瑞稀



(6/1) 順番を待つ学生たち



(6/1) たくさんの方にご協力いただいた



(7/11) 暑い中での活動となった



(7/11) 参加者の荷物を管理



(11/1) 今年度最後の学内献血だった



(11/1) 2022年度はのべ150人が献血に参加した

3. 子どもセンターぱお 夏祭り

1. 日程 2022年7月31日(日)

2. 場所 子どもセンターぱお

3. 概要

町田市の子どもセンターぱおが主催する夏祭りにて、運営補助を行った。参加学生は工作コーナーと駐輪場整備を担当し、地域の方々と交流した。

4. 学生参加者数 12名

5. 参加学生の感想

工作を教えるのは難しかったですが、楽しく参加することができました。実際に子どもたちと関わり、一人ひとりに合った伝え方をすることが大切なのだと実感しました。

現代福祉学部 福祉コミュニティ学科2年 田中 遥

今回のボランティア活動では、さまざまな年代の方とお話をする機会がありました。特に、小さい子どもとの会話は、工作コーナーで多くありました。小さい子に説明するためには、言葉ではなく実際に動きで表現した方が良いということがわかりました。

経済学部 経済学科1年 村田 晴太



子どもたちと工作①



子どもたちと工作②



ステージの受付を担当



たくさんの方にお越しいただいた

4. - 相原地区協議会大学連携事業 - 地域交流会「竹カフェ」

1. 日程 2022年9月24日(土)

2. 場所 多摩キャンパス EGG DOME 多目的ホール

3. 概要

地域の方々をお招きし、東京オリンピックの正式種目にも選ばれたポッチャの体験イベントを実施した。地域の方と学生の混成チームによる対戦形式で試合が行われ、地域の方々 26 名と学生スタッフ 17 名の計 43 名が参加した。

4. 学生参加者数 17 名

5. 参加学生の感想

こうした地域の方と交流するボランティアというのは初めてだったが、自分なりに積極的に関わりを持って行くことができた。こうした初めて会う方々と交流することはボランティア以外にもあるだろうから、今回の経験を活かしていきたい。

社会学部 社会政策科学科 3 年 鶴淵 尊

去年の竹カフェは参加することができなかつたため、今年参加できて本当に良かったです。チーム内で交流したり、状況を見て対応したりすることも多かったです、とても爽やかな活動になりました。4 月に言った『みんなが楽しめる活動』を実践できたのではと思います。12 月の活動にも活かしたいです。

現代福祉学部 臨床心理学科 2 年 佐藤 菜歩

想像していたよりも、地域の方と一緒に盛り上がることでとても楽しかったです。対戦相手でも、応援しあったり、ほめあったりしていい雰囲気だと感じました。

現代福祉学部 臨床心理学科 1 年 竹内 琴音

同じチームの方とたくさんお話することができました。初対面でしたが全員でポッチャを楽しむことができ、1 位になれたのが嬉しいです。また地域の方と交流する機会があれば参加したいと思いました。

経済学部 経済学科 1 年 滝田 実加

地域の方々と交流できて楽しかったです。ポッチャというスポーツを通しての交流は、普通に交流する以上に互いに打ち解け合うことができたと思います。これからも機会があったら参加したいです。

現代福祉学部 福祉コミュニティ学科 1 年 三石 帆波

地域の方とたくさん関わることができて楽しかった。自分たちも、参加して下さった方々も楽しく、笑顔で過ごせた良い時間だった。

現代福祉学部 臨床心理学科 1 年 佐藤 萌々香

ポッチャとは？
白いボールに、自分のチームのボールを近づけて得点を競う、カーリングのような競技。
パラリンピックの正式種目として採用されています。



今回の竹カフェではポッチャ大会を開催します！参加賞あります！優秀賞のプレゼントあります！

地域交流会 竹カフェ
法政大学生と
ポッチャを
しませんか？



みなさんで楽しみいただけます！
ぜひご参加ください！

2022年9月24日(土)
13:00~15:30
法政大学多摩キャンパス
EGG DOME 5 階

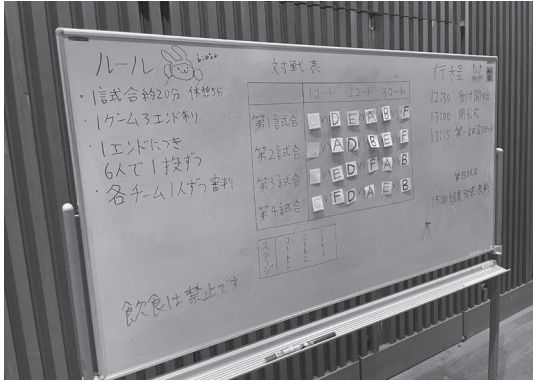
12:30~ 受付
13:00~ 試合開始
15:00~ 表彰式
~15:30 解散



申し込みは
法政大学多摩ボランティアセンターへ

電話 : 042-783-2073
メール : tama-vc@hosei.ac.jp
*9/9(金)までにお申し込みください。

当日会場では、
・アルコール除菌
・こまめな換気
・検温とマスク
を、徹底してまいります。
どうぞ皆様、お気軽に
お越しください。



当日の対戦表



学生によるデモンストレーション



ボール間の距離を測定



大盛り上がりのイベントとなった

5. つながりマルシェ

1. 日程 2022年10月15日(土)

2. 場所 芹ヶ谷公園 多目的広場

3. 概要

さがまち学生クラブ主催の地域イベントに学生スタッフが参加。新聞紙で作るスリッパや、ゴミ袋で作る雨合羽など、緊急時に役立つ防災グッズ作りのブースを運営した。

4. 学生参加者数 2名

5. 参加学生の感想

当日だけでなく全5回のミーティングも通して、参加されたたくさんの団体の方と、お互いの活動について知ることができました。今後もこのつながりを活かして、お互いが人手や助けが欲しい時に協力者を募ったり、イベント等を企画することができるのではないかと思います。特に今回は、当日だけでなくミーティングでも対面で会うことが多かったため、知り合いになれる機会も多かったです。防災に関するワークショップも、今回は参加者の反応が良かったと思います。参加された団体の方も、興味を持って来ていただいた方が多かったです。

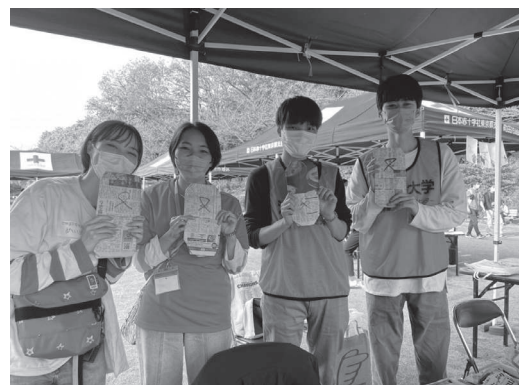
社会学部 社会学科4年 山中 一智也

今回、つながりマルシェに参加させていただき、ブースにて身近なもので作る防災グッズの作成体験と気仙沼の郷土料理紹介を行いました。防災グッズの作成体験をしていただいた方に「いざというときにタメになる!」といった感想や「是非お金を払ってでも聞きたい!」といった感想をいただき、本当にこの企画を行うことができ良かったと思いました。また、小さいお子さんにとっても工作をする感覚で楽しんで作成していただけたことも嬉しかったです。つながりマルシェということで、他の団体の方にもブースに来ていただいたり、自分自身もいろんなブースをまわることができて、つながりを深めることができました。

現代福祉学部 福祉コミュニティ学科3年 矢野 聖悟



子どもたちと防災グッズ作り



他大学と交流する良い機会となった

6. 第75回自主法政祭多摩地区（多摩祭）

1. 日程 2022年10月15日（土）～16日（日）

2. 場所 多摩キャンパス 経済学部棟2階 220教室

3. 概要

第75回多摩祭にて、町田市市民生活安全課にご協力いただき、照明を落とした部屋で反射材を利用したミニゲームを行う「暗闇縁日」を実施した。

4. 学生参加者数 11名

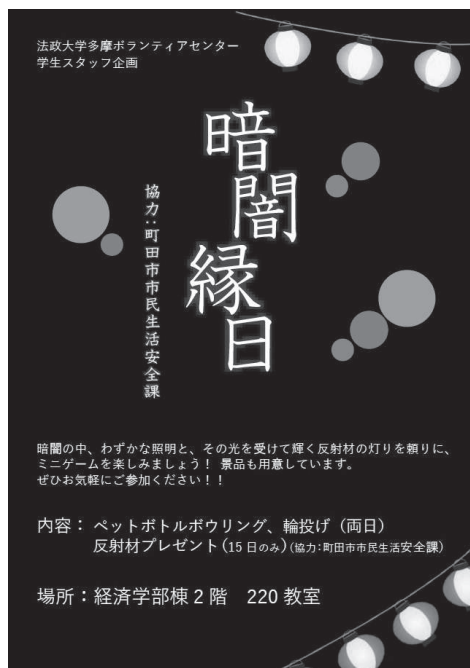
5. 参加学生の感想

今回の多摩祭は昨年に比べ多くの方にご来場いただいたのではないかと思います。中には私たちの活動に興味を持ちどのようなことをやっているのかお聞きくださった方もいらっしゃいました。15日の反射材のコラボは、関心を持ち実際につけて帰っていった方々も見られ、良い企画になったのではないかと思います。

現代福祉学部 福祉コミュニティ学科2年 中山 紗希

僕は今年が多摩祭には16日（日）のみの参加となってしまったのですが、16日も40名を超える方に来場していただき、出し物を楽しんでいただいたり、暗闇での縁日というアイデアを「面白い!」と褒めていただいたり、この企画をやって良かったと思えることの連続でした。来場していただいた方の中には、前日のつながりマルシェ（町田市芹ヶ谷公園で行われたイベント）に学生団体として同じくブースを出されていて、そこで仲良くなった八王子学生委員会の方にも来ていただき、いろんな方との縁も感じながら、参加していただいたことに対して本当に嬉しい気持ちでいっぱいでした。準備のときからうまく進めることができずに、反省も多く残りましたが、様々な方のご協力もあり、無事に終わることができてホッとしています。

現代福祉学部 福祉コミュニティ学科3年 矢野 聖悟



輪投げブース



町田市市民生活安全課にご協力いただいたブース

7. 子どもセンターばお ハロウィンイベント

1. 日程 2022年10月23日(日)

2. 場所 子どもセンターばお

3. 概要

町田市の子どもセンターばおが主催するハロウィンイベントにて、学生スタッフが、子ども対象の工作企画としてちぎり絵体験を実施し、地域の方々と交流した。

4. 学生参加者数 5名

5. 参加学生の感想

参加人数が読めなかったため、どうなるか不安でしたが、何度も戻ってきて参加してくれたり、付き添いのお母さんも一緒に楽しんでくれたりと、やって良かったと思える時間でした。ただ作るだけではなく雑談をしたり、折り紙を教えてくれたりと、だんだんと心を開いてくれているなど感じながら交流ができたように思います。「また今度来てね」と言ってくれる子もいたので、今後もイベントを企画してがんばっていきたいです。

現代福祉学部 臨床心理学科 2年 佐藤 菜歩

初めて子どもセンターばおに行っのボランティアをしましたが、スタッフの皆さんもとてもやさしく、子どもたちも、私たちが部外者と思わないで受け入れてくれて、とても温かい空間だなあと感じました。

現代福祉学部 臨床心理学科 1年 水上 菜那



子どもたちと工作



完成したちぎり絵

8. 相原中央公園スポーツイベント ～ FUN DAY ～

1. 日程 2022年11月3日(木・祝)
 2. 場所 相原中央公園 多目的広場2(スポーツ広場)

3. 概要
 町田市相原中央公園スポーツ広場で行われた、子どもを対象としたスポーツイベントの運営補助として参加した。学生は「走り方教室」のブースを担当し、子どもたちに正しい走り方の指導や50メートル走のタイム測定を行った。

4. 学生参加者数 3名

5. 参加学生の感想
 3回目となる相原での走り方教室ですが、去年も来てくれた子がまた参加してくれていたのが嬉しかったです。去年をふまえて、小学校にあがる前の子も多く来ていたので分けて行おうとしましたが、学生の人数が少なく合同で行うことになりました。しかし、慣れもあり子どもたちが走って帰ってくる時にそのままレースを帰って次の人とぶつかることを避けるよう伝えられたので、小さい子もケガなく取り組めるものとなったと感じられました。毎回、名札を付けるのはすごく良い点だと思っています。

社会学部 メディア社会学科4年 大島 瑞稀

昨年に引き続き、走り方教室のボランティアに参加させていただきました。「速くなりたい人〜？」と聞くと一斉に手が挙がるほどやる気がある子どもたちを教えることは非常に楽しく、私も走る楽しさを改めて思いださせてもらいました。貴重な時間を本当にありがとうございました。

スポーツ健康学部 スポーツ健康学科4年 新井 涼香



50メートル走のタイムを測定



大勢の子どもたちと触れ合った

9. 第16回町田市市民協働フェスティバル 「まちカフェ！」～ちぎり絵ワークショップ～

1. 日程 2022年11月26日(土)

2. 場所 町田市役所 おうえんルーム

3. 概要

町田市内で活動するNPO法人や市民活動団体が互いの活動を知り、交流を深め、地域で活動するきっかけ作りの場になることを目的としたイベントに参加。学生スタッフのブースでは、ちぎり絵ワークショップを行い、売上金額は医療支援を目的に、全額町田市に寄付をした。

4. 学生参加者数 4名

5. 参加学生の感想

今回、まちカフェでちぎり絵ワークショップを行ったが、以前子どもセンターばおで同じような活動をしていたため、その経験を基に前回よりもスムーズに交流することができた。また自分たちと同じような活動をしている学生の方々にも来ていただき、交流を深められた。そういった点でも非常に有意義な時間になったと思う。今後こういった様々な団体が参加するイベントに自分も参加し、多くの人々と交流していきたい。

社会学部 社会政策科学科3年 鶴淵 尊

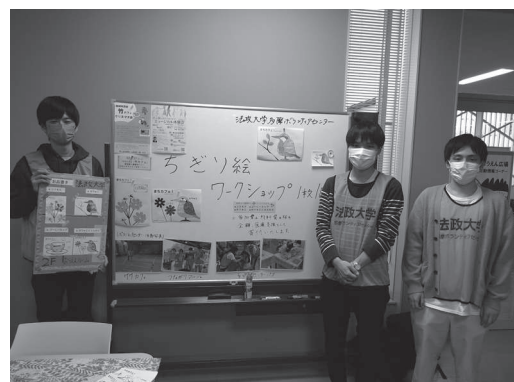
今回のまちカフェが、実際に参加する初めてのまちカフェでした。企画内容は、自

分で提案したワークショップであったため、子どもたちやいらしてくださった方が皆さん楽しそうにちぎり絵をしている姿を見ることができ、提案して良かったなと思いました。

現代福祉学部 福祉コミュニティ学科2年 中山 紗希



学生たちが作り方をレクチャー



たくさんの方にご参加いただいた

10. 一相原地区協議会大学連携事業

地域交流会「竹カフェ クリスマス会」

1. 日程 2022年12月17日(土)
2. 場所 多摩キャンパス EGG DOME Slow World Café

3. 概要

地域の方々をお招きし、クリスマスにちなんだプログラム(クリスマスカード作り、アカペラサークル「はもるぶ♪」によるライブ、クイズ大会)を実施した。地域の方々8名と学生スタッフ10名の計18名が参加した。

4. 学生参加者数 10名

5. 参加学生の感想

クリスマスカードとクイズ大会の両方とも盛り上がっていて良かったと思います。今回は周辺に住む方は参加されませんでした。もし参加された場合でも、楽しみやすい内容だったのではないかと思います。準備に関してはほとんど関わることにはできませんでしたが、それぞれ分担が上手くされていると思いました。クリスマスカードも、メッセージ欄の記入について、もう少し時間が取れたらなお良かったように思いました。

社会学部 社会学科4年 山中 一智也

参加者の方々と一緒にアカペラやクイズ大会を楽しむことができた。今回は比較的小規模での開催となったが、特にクイズ大会はもう少し参加者がいた方が盛り上がると思うので、次回は集客から力を入れていきたい。

社会学部 社会政策科学科3年 鶴淵 尊

クリスマスカードを作るという企画を提案し、スクラッチカードを削り、オリジナルのカードを作りましたが、参加して下さった方々が楽しそうに、またやりたいと話されていたので良かったです。クイズも、簡単なものから難しいものまで、チームで楽しみながら取り組むことができました。今回も楽しく活動できました。

現代福祉学部 福祉コミュニティ学科2年 中山 紗希

クイズ大会のとき、端末の不具合によって、きちんと参加できていないグループがあったので、一度リハーサルを通して様子を見ておくべきであった。合唱がダイナミックで、とても興味深かった。

経済学部 経済学科1年 森田 陸生

皆さんと一緒に楽しむことができました。クイズ大会では全員で意見を出し合いながら答えられたので、交流できたと思います。またこのような機会があれば参加したいです。

経済学部 経済学科1年 滝田 実加

地域交流会

竹カフェ クリスマス会

法政大学生と
楽しむ

イベント内容

日時: 12月17日(土) 13:00~15:00

場所: 法政大学 多摩キャンパス

エッグドーム2F Slow world cafe

定員: 30名(どなたでもOK)

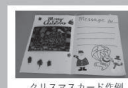
内容: クリスマスカードの作成

法政大学 アカペラサークル「はもるぶ♪」ライブ
チーム対抗クイズ大会

※お茶菓子の提供を予定していますが、感染状況によりお持ち帰りになる可能性があります。

申し込みは“多摩ボランティアセンター”へ (詳細は裏面に記載)
住所 〒194-0298 東京都町田市相原町4342
電話 042-783-2073 FAX 042-783-2074
メール tama-vc@hosei.ac.jp

申し込み締切: 12月9日(金) まで



クリスマスカード作り例



クリスマスカード



アカベラサークル「はもるぷ♪」によるライブ



クリスマスにまつわるクイズ大会



楽しい時間を過ごした

11. 芹ヶ谷公園イベント 「緑の物語をつくるワークショップ」

1. 日程 2023年2月25日(土)

2. 場所 芹ヶ谷公園 多目的広場

3. 概要

「ハンズオン(体験型学習)」をコンセプトに、様々な体験を通じて芹ヶ谷公園の緑と維持管理にいて学ぶイベントに学生スタッフが参加。新聞紙で作るスリッパや、ゴミ袋で作る雨合羽など、緊急時に役立つ防災グッズ作りのブースを運営した。

4. 学生参加者数 4名

5. 参加学生の感想

今回防災グッズワークショップを出展してみて、参加された方から驚きのリアクションをいただき感謝されることが本当に嬉しくて、出展して良かったと思う場面が多くありました。また、今回の芹ヶ谷公園でのイベントに違和感なくマッチしていたと思い、他の団体さんのブースに参加した流れでボラセンに参加してくれた方もいたので、今回から新しく参加した身としてホッとした思いでした。

現代福祉学部 福祉コミュニティ学科3年 矢野 聖悟



芹ヶ谷公園 2月25日(土)
(雨天:2月26日(日)延期)
緑の物語をつくるワークショップ
～芹ヶ谷の緑で“OOしたい”を実践しよう～
参加費無料 一部有料
会場: 芹ヶ谷公園 芝生広場周辺・多目的広場
第4回
ハンズオンで
学ぶ・過ごす編
全体ファシリテーター: 村山 史世 氏
(麻布大学 准教授)
芹ヶ谷公園ワークショップ
●木こり体験 ●ネイチャーアート ●ブッシュクラフトワークショップ
●モルック体験 ●防災グッズづくり
お問い合わせ先: 町田市都市づくり部公園緑地課公園計画係 (直通: 042-724-4397)



子どもたちと防災グッズ作り



たくさんの方にお越しいただいた

12. 学生活動報告会【ガクマチ EXPO】

1. 日 程 2023年3月21日(火・祝)

2. 場 所 町田市生涯学習センター

3. 概 要

主に町田・相模原で地域活動を行う大学の学生団体が、地域の方々へ向けた活動のPRや学生間の交流を行うイベント。今年のガクマチ EXPOは、約3年ぶりに完全対面式でのイベント開催となり、本学学生スタッフ5名を含め、11団体が参加。学生スタッフは「オリジナルルールでポッチャをしよう!」という企画を実施し、参加者と話し合っオリジナルのルールを設定し、ポッチャを楽しんだ。

4. 学生参加者数 5名

5. 参加学生の感想

ポッチャのルールを様々に変えて楽しんだり、正規ルールでしっかりプレイしたりと、人によって参加の仕方は様々でした。ですが、どの方にも楽しんでいただきました。参加者が楽しめるよう柔軟に授業内容は変えていきましたが、それでもコンセプトはそのままに実施できました。一緒にスポーツをする上でどの程度規定をし、どの程度自由にすれば楽しめるのか、それを考える上で良い経験になったと思います。

社会学部 社会学科4年 山中 一智也

全体を通した授業という形にとらわれすぎることなく、休みの時間にも多くの方がポッチャを体験しに来てくださいました。子どもから大人まで、楽しいという声を多く聞くことができ、参加して良かったなと思いました。誰でも楽しめ、さらにルールを自分たちで決められるという点で皆さん楽しんでくれたのではないのでしょうか。

現代福祉学部 福祉コミュニティ学科2年 中山 紗希



オリジナルルールを考えた



多くの参加者と楽しめた